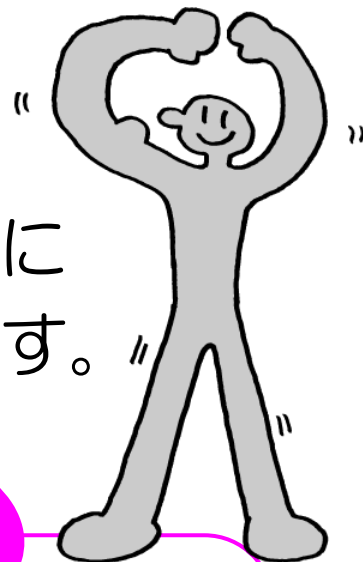


# 2020年度より、 かわさき市民公益活動助成金に 新たなメニューが追加されます。

## 「コラボ50」スタート！



1年目から  
申請できる

### 「コラボ50」とは

川崎市内では、複数の団体（企業、自治会、行政等を含む）が協働で実施する、魅力的なイベントが増えています。

ひとつの事業を、複数の主体によって合同で実施したほうが、団体単独で行うよりも、投入する資源（人材・ノウハウなど）が充実し、企画内容の向上や、結果や成果も期待できます。

そこで、2団体以上が協働で行う事業に対し、上限50万円の助成をおこないます。参加する団体それぞれの良さ、強みを生かした事業の申請をお待ちしています。

### 対象事業

- 公益活動を行っている団体（代表団体）が、他の団体と協働して行う事業。
- 代表団体は、他のメニューと併願はできません。

### 助成額

対象経費（範囲は既存メニューと同じです）の80%以内かつ50万円以内

### その他

- 団体の活動実績年数の制約はありません。
- 申請方法は既存の助成メニューと同じです。
- 提出資料のうち、団体概要、規約・会則、決算書・予算書については、係るすべての団体分の提出をお願いします。

裏面の申請例もご覧ください。

## コラボ50の申請例



### (1) 子育て支援団体×2団体

事業	子育てに関する専門家の講演会
分担	ひとつの団体は広報担当、もうひとつの団体は当日に向けた準備を担当
コラボの強み	個々の団体では、大きな会場でたくさんの集客の見込まれるイベントは難しかったが、コラボすることで対応が可能になる。

### (2) 福祉団体×自治会

事業	●●町▲丁目みんなのカフェ事業
分担	団体が企画運営する交流のためのカフェを、自治会の協力により、町内会館で実施
コラボの強み	団体が直接地域住民に働きかけるのではなく、自治会を通すことにより、スムーズに企画が実施できる。場所の提供も受けられる。また、自治会は地域福祉の向上につながる。

### (3) 認知症カフェ主催団体×業界団体

事業	成年後見制度・相続のワンストップ相談窓口
分担	企画、準備は団体、業界団体は相談窓口の人材提供
コラボの強み	実施したくても団体だけではできなかった部分を、業界団体にサポートしてもらえ、当事者のニーズにこれまで以上に応えることができる。業界団体は直接市民の声を聴く機会が増え、今後の事業に活かせる。

### (4) 食育講座主催団体×企業

事業	かわさきハーベストフェア 2020
分担	食に関する各種団体、個人事業主、企業が企画段階から参加し、多くの市民が農産物の収穫を楽しみ、食育につながるイベントを展開する。
コラボの強み	市民活動団体、個人事業主、企業がそれぞれの強みを活かし、イベントの規模やブースの種類が拡大、市民と主催者との食育に関するより多くの情報交換、交流が期待できる。

事業の企画、申請書作成等、個別相談承ります（要予約）。

公益財団法人かわさき市民活動センター 電話 044-430-5566 FAX 044-430-5577